

特集「ワクチン開発」によせて

岡田 随象

(東京大学大学院医学系研究科, 大阪大学大学院医学系研究科, 理化学研究所生命医科学研究センター)

河岡 義裕

[東京大学国際高等研究所新世代感染症センター (UTOPIA),
国立国際医療研究センター国際ウイルス感染症研究センター]

人類の歴史は感染症との戦いの歴史でもありました。幾多の病原体の脅威に曝されてきたなかで、ワクチン開発は人類の健康と社会への多大な貢献を果たしてきました。いまだ記憶に新しい新型コロナウイルス感染症パンデミックにおいて、ワクチンの重要性は改めて世界的に認識されるに至りました。来るべくネクストパンデミックへの備えとして、わが国におけるワクチン開発の戦略的展開は急務の課題です。

先進的研究開発戦略センター (Strategic Center of Biomedical Advanced Vaccine Research and Development for Preparedness and Response ; SCARDA) は、日本医療研究開発機構 (AMED)「ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業」を通じ、令和4年3月に設置されました。フラッグシップ拠点(東京大学)、シナジー拠点(北海道大学, 千葉大学, 大阪大学, 長崎大学)、サポート機関(京都大学, 実中研, 理化学研究所, 医薬基盤・健康・栄養研究所, 東京大学医科学研究所, 滋賀医科大学), で構成される10施設・約200名の国内トップレベル研究者が集う研究組織として、日夜ワクチン開発研究が進められています。基礎医学, 臨床医学, 医療倫理, 公衆衛生, 社会実装, と多岐にわたる研究分野が網羅された学際連合としての特徴も有しています。発足より3年半が経過し, 革新的なワクチン開発技術の進展に加え, ヒト免疫システムの理解やワクチン開発に直接的に貢献し得る研究成果やシーズ導出が認められつつあります。

本特集では, SCARDAの参画拠点・機関に所属される主要研究者の皆様に, 研究プロジェクトの概要をご執筆いただきました。ワクチン開発研究としての素晴らしさはもちろんですが, 一流の研究者が織りなす独創的な研究活動のエンサイクロペディアとしても, 質の高い特集になったと感じております。ご多用のなかご執筆いただいた先生方に御礼を申し上げますと共に, 本特集がわが国のワクチン開発のいっそうの発展に寄与することを祈念しております。